

地上デジタル放送普及推進 ミニドラマ

割れたせんべい (第一稿)

いちごとせんべい その2

脚本 大岡俊彦

登場人物

綾子（27） 煎餅や「ささき」の女房。

祐一（27） 煎餅や「ささき」の主人。

源治（62） 綾子の父。つかみどころなく

飄々としているが、意外とちや  
んとしている。たとえばタモリ  
倶楽部に出てる時の原田芳雄  
みたいな。

東京タワーが出来た時（19  
58）には10才。

メイド（22） アキバのメイドさん。

○煎餅や「ささき」

○同、焼き釜の前

はげしく口論する綾子、祐一。声はサイレントで、二人の表情だけでその激しさを物語る。

静かに入る綾子の語り。

綾子ナレ「ケンカした。結婚して、はじめての大ゲンカだ」

祐一「オレが焼いてるせんべいだろ!？」

綾子「私が売ってるんです!!」

はげしく机を叩く綾子。

はずみに、机の上に置いたせんべいの山が、床に落ちて割れてしまう。

祐一「…」

綾子「…」

綾子ナレ「原因は、ささいなことだと、思う」

○その煎餅に、タイトル『割れたせんべい』

○綾子の実家、リビング、夕

山盛りのいちごを黙々と食べている綾子。父の源治はテレビを眺めている。

綾子「やっぱり実家のいちごが一番だね」

源治「同じ栃木産でしょ。埼玉でも東京でも」

綾子「雰囲気が違うのよお父さん」

源治「…今日、泊まってくの?」

綾子「自分の家に泊まるのに許可なんている?」

源治「…(真意をうかがおうと)」

綾子「…はい、お土産」

出したのは割れた煎餅。

綾子「釜が古いから、どうしても割れるやつが出ちゃうのよ。欠品だけど味は変わらないから、家族が食べる用」

源治「(ぼりぼり食べて)ウマイね」

綾子「でしょ? 祐一の焼いたせんべいは

日本一なのよ」

源 治「…（また真意をさぐろうとして）」

綾 子「…」

源 治「明日、東京観光でも連れてってよ。」

行ってみたい所あるんだよ」

綾 子「べつに、いいけど」

テレビにうつるニュースは、建設中の  
スカイツリー。

○翌日、秋葉原

○同、メイド喫茶内

メイド「萌え萌えじゃんけんぽーん！」

源 治「萌え萌えじゃんけんぽーん！」

ノリノリの源治、あきれる綾子。

源 治「いやあ楽しいねこりゃ。最近の若い  
のがハマる訳だね」

綾 子「ビミョーに違うと思います」

源 治「次はどこ行こうかね」

綾 子「お父さん今日会社休んだの？」

源 治「お前だって店休んだんだろ。祐一と  
んとケンカでもして」

綾 子「…そうです」

源 治「今日は人生の先輩としてだな、エス  
ケイプの仕方を教えてやるのだ。あそこへ  
はどうやって行くんだ？」

指さしたのは、窓から見えるスカイツ  
リー。

○建設中のスカイツリーの下、夕

綾子と源治、下から眺める。

源 治「いやあ近くで見るとデカイねこりゃ。  
どのへんからデジタル波がビビビって出る  
のかね？ ウチまで届くらしいね」

綾 子「周りにはまだ何にもないでしょ？」

源 治「これから出来るんだよ。東京タワー  
の時もそうだった。新しい時代がはじまる  
ざわざわした感じが忘れられないよ。新し

い時代はここからかあ。展望台が出来たら  
祐一さんと登りなよ？」

綾子「：」

源治「なんだよ、別れるの？ 一生会わな  
いの？」

綾子「彼が、雑誌ばっか読んでてぼーっと  
してるからよ。私は、新しい釜を買ってあ  
げたいの。割れない温度管理の出来る最新  
式を。あの味をもっと多くの人に食べても  
らいたいの」

源治「それは彼に言ったのかい？」

綾子「(首を振る)」

源治「(ケータイを取り出す。通話中)聞

こえた？」

祐一の声「：ハイ」

綾子「いつから通話してたの!？」

源治「東京タワーの下りから。：(祐一と  
話して)彼、渡したいものがあるってさ」

○煎餅や「ささき」店先、夜(または夕)

色とりどりの割れたせんべいが、詰め  
合わせの束に。

祐一「貯金したいなら、言ってくればよ  
かったのに」

綾子「だって」

祐一「今度ここに行こうと思っててさ」

出したのは、雑誌にのる南の島。

祐一「結婚して、もうすぐ一周年だし」

綾子「そんなこと、考えてたの？」

源治「(笑って)黙ってたの、おあいこか  
割れたせんべいを食べる。」

源治「ウマイ」

祐一「味は変わらないんだし、安く売ろう  
と思うんです。(綾子に)少しでも、貯金し  
なきゃね」

綾子「(照れて、怒る)最初っから言っ  
てよね」

源治「(笑)一件落着と。じゃ帰るわ」  
詰め合わせを持って去る。

祐 一「あ（慌てて一礼）。またゆっくり来てください」  
手を振る源治。

綾 子「…」

祐 一「…」

綾 子「一人でさびしくなかった？」

祐 一「別に」

綾 子「私はさびしくてお煎餅食べてたよ」

祐 一「おれは、いちご食べてた」

割れた煎餅の詰め合わせ。

綾 子「…それ。割れても一緒、てことで、

商品名は『仲直り』なんてどう？」

笑う祐一。抱きつく綾子。

タイトル『ずっとあなたと、いたいから。』

2011年7月24日、NHKはデジタル放送へ移行します』